

安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名 : 切断砥石 両面補強 A 径105mm×厚さ2.0mm
会社名 : 株式会社MonotaRO
住所 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 : 商品お問合せ窓口
電話番号 : 0120-443-509
FAX番号 : 0120-289-888
緊急連絡先 : 所在地と同じ
整理番号 : M220825

2.危険有害性の要約

危険性： 使用中に砥石が破損し、周囲に飛散して人体に当たった場合、人身事故の恐れがある。

使用中に発する火花により、火傷と火災の恐れがある。

有害性： 使用中に発生する粉じんを長時間にわたり吸入すると、じん肺に罹る恐れがある。

環境影響： 使用中に発生する粉じんにより作業環境が汚染される恐れがある。

混合物質のGHS分類：

物理化学的危険性

爆発物	分類出来ない
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類出来ない
自己反応性化学品	分類出来ない
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類出来ない
自己発熱性化学品	分類出来ない
水反応可燃性化学品	分類出来ない
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類出来ない
有機過酸化物	分類出来ない
金属腐食性物質	分類出来ない

健康有害性

急性毒性(経口)	分類出来ない
急性毒性(経皮)	分類出来ない
急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類出来ない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類出来ない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類出来ない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	分類出来ない
呼吸器感作性	分類出来ない
皮膚感作性	分類出来ない
生殖細胞変異原性	分類出来ない
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類出来ない
生殖毒性・授乳影響	分類出来ない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分あり
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分あり
吸引性呼吸器有害性	分類出来ない
環境有害性	
水生環境有害性(急性)	区分3
水生環境有害性(長期間)	分類出来ない
オゾン層への有害性	分類出来ない
ラベル要素:	
絵表示	



注意喚起語

危険

3.組織、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分情報： 含有量は重量%にて記載

名称	化学式	含有量	CAS番号	安衛法	化管法
酸化アルミニウム	Al ₂ O ₃	60-70	1344-28-1	189	—
フェノール樹脂硬化物	—	15-18	—	—	—
水晶石	Na ₃ AlF ₆	2.0-4.0	13775-53-6	516-2	—
硫化鉄	FeS	1.0-3.0	—	—	—
カーボン	C	0.1未満	1333-86-4	130	—
シリカ	SiO ₂	8-10	14808-60-7	312	—

※労働安全衛生法に基づく情報(安衛法)

※化管法SDS制度・PRTR制度に基づく情報(化管法)

4.応急措置

吸入した場合： 粉塵を吸入したら直ちに新鮮な空気のある場所に移し、水で十分にうがい(洗浄)をし、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要ならば医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合： むやみに擦らず、作業終了後、石ケン水等で洗い流す。必要ならば医師の手当てを受ける。

眼に入った場合： 粉じんが眼に入ったら直ちに清浄な流水で洗眼する。この時強く押さえたり擦ったりしないこと。必要ならば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合： 多量の水を飲ませ、嘔吐させる。必要ならば医師の手当てを受ける。

直撃した場合： (作業中に高速で回転する砥石が破損し、砥石の破片や被切断物の一部が飛散して人体を直撃)安全な場所へ移動して、必要なら医師の手当てを受ける。

予想される急性症状： 作業中に発生する粉塵や研削液のミストを吸引すると、呼吸器を刺激する。長期的にはじん肺及び遅発性症状や肺障害のおそれがある。

最も重要な徴候及び症状： 被削材や切り粉が火花となり飛散し目に飛び込んだ場合、眼球に火傷等の傷害が発生する。

応急処置をする者の保護： 作業中は必ず機械を停止してから処置を行う。

医師に対する特別な注意事項： 砥石は鋭利な研削材が表面に存在するので、人体と擦ると切傷が発生する。

5.火災時の措置

消火剤：	この製品自体は、燃焼しない。周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤：	情報なし。
火災時の特定危険有害性：	特になし。
特定の消火方法：	特になし。
消火を行う者の保護(保護具等)：	特になし。適切な保護具の使用が望ましい。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項：	粉じん等が眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。
保護具及び緊急時処置：	粉じんを収集する場合は保護具(保護メガネ、防塵マスク等)を着用する。取り扱った後は手を洗うこと。
環境に対する注意事項：	といしの削りカスを河川等に排出しないこと。土壌、水に規制物質が溶出する可能性あり。
回収、中和：	特になし。
二次災害の防止策：	特になし。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い技術的対策：	使用前にこの製品の『安全の手引き』と機械及びその他関連する設備等の全ての安全の注意を読み、理解するまで取扱わないこと。 特別教育を受けていない人は、といしの取替え・試運転をしないこと。 といしに表示されている最高使用周速度・寸法などが、機械に適合していることを確認すること。 機械へ取付ける前に、といしのひび・割れ・かけ等の外観検査と打音検査をすること。 といしをフランジへ取付ける際は、適正な物を使用し、ナットを締め過ぎないこと。 その日の作業開始前に1分間以上、といしを取替えた時は3分間以上の試運転をすること。 フランジへの取付時、必ず外観・音響チェックを実施し、異常のない事を確認すること。 フランジは、法律に基づいた材質、寸法などのものを使用すること。 決められたといし使用面のみ使用すること。(側面使用の禁止) 決められた安全装置(例えば保護カバー)を具備すること。
局所排気・全体排気：	作業中に粉塵が発生するので、局所排気または全体排気を行うこと。
安全取扱い注意事項：	①落とさないこと、②ぶつけないこと、③転がさないこと。 回転中のといしに直接身体を触れないこと。
保管技術的対策：	水分・湿気を吸収すると、といしの強度が低下するので、湿気を避け通気の良い乾燥した場所で、平らな定盤上または整理棚等にて保管する。
混触禁止物質：	特になし。
保管条件：	常温・常湿の所に保管すること。といしは水分の凍結の恐れのある場所に保管しないこと。
容器包装材料：	取扱い時の衝撃を吸収するような材質を使用すること。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度：3.0mg/m³ (労働安全衛生法)

許容濃度：第二種粉じん 吸入性粉じん=1mg/m³ 総粉じん=4mg/m³（日本産業衛生学会）

設備対策：粉じん対策として集塵装置を設けること。又は必要に応じて全体排気をする事。

集塵装置は発生する火花を吸収し火災になる恐れがあるので直接火花を吸収しない対策をすること。

保護具： 作業者は必ず次の保護具を着用すること。

呼吸器の保護具： 国家検定に合格した防塵マスク。

手の保護具： 耐火花性のある手袋。

目の保護具： 完全防護形の防塵眼鏡。

耳の保護具： 耳栓を着用するのが望ましい。

皮膚及び身体の保護具： ヘルメット、安全靴、一般的な作業服を着用する。

保護衣： 耐火花性のある材質の作業服を着用。

適切な衛生対策： うがい用及び洗浄用の水洗設備が望ましい。

9.物理的及び化学的性質

外観：	固体で有色成型品
臭い：	僅かにフェノール臭
pH：	データなし
融点・凝固点：	知見なし
沸点：	知見なし
引火点：	不燃性
爆発範囲：	データなし
蒸気圧：	知見なし
蒸気密度：	知見なし
密度(g/cm ³):	1.9-2.4
溶解度：	知見なし
オクタノール/水分配係数：	知見なし
自然発火温度：	不燃性
分解温度：	知見なし
臭いのしき(閾)値：	データなし
蒸発速度：	知見なし
燃焼性：	不燃性
粘度：	該当しない

10.安全性及び反応性

安定性：	通常条件では安定
反応性：	なし
避けるべき条件：	高温度、高湿度、衝撃など
混融危険物質：	なし
危険有害な分解生成物：	なし

11.有害性情報

急性毒性(経口、経皮、吸入)：	知見なし
皮膚腐食性・刺激性：	知見なし
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	知見なし
呼吸器感受性又は皮膚感受性：	知見なし
生殖細胞変異原性：	知見なし

発がん性:	シリカ含有量が0.1%以上の為。
生殖毒性:	知見なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	酸化アルミニウム含有量が20%以上の為、区分3(気道刺激性)に該当。シリカ含有量が1%以上の為、区分2(呼吸器系)に該当。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	酸化アルミニウム含有量が10%以上の為、区分1(肺)に該当。シリカ含有量が1%以上の為、区分2(呼吸器系、腎)に該当。
吸引性呼吸器有害性:	知見なし

12.環境影響情報

残留性・分解性:	知見なし
生体蓄積性:	知見なし
土壌中の移動性:	知見なし
起こり得る環境影響:	切断・研削等において、研削屑(粉塵)として少量排出されます。
水生環境有害性(急性)	3種類の方式、加算式・加算法から判定。
水生環境有害性(長期間)	知見なし
オゾン層への有害性	知見なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。 行政の許可を受けた産業廃棄物業者に内容を明確にして処理を委託する。 「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」に分類されます。その為、 産業廃棄物として処理する。
汚染容器及び包装:	知見なし

14.輸送上の注意

国際規制			
海上規制情報:	非危険物	航空規制情報:	非危険物
国内規制			
陸上規制情報:	規制なし	海上規制情報:	非危険物
航空規制情報:	非危険物		
特別の安全対策:	水濡れ、梱包ケースの損傷に注意する。 ある程度の圧力や衝撃に耐え、防湿にもなる内装を有する箱に入れる。 といしが破損しないように、乱暴な扱いは避ける。 転倒、落下、その他の衝撃等がないように注意する。 「われもの」であり、投げ投げ、落下などの衝撃がないよう運搬する。 異常な衝撃・力等が加わったと思われる場合は、製造者又は使用者に 対して報告する。		

15.適用法令

労働安全衛生法:	<ul style="list-style-type: none"> ・名称を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) ・研削といしの取替え等の業務に係る特別教育 (法第59条第3項、安全衛生特別教育規程第1条) ・取扱い上の注意 (労働安全衛生規則第2編) ・安全装置の具備 (労働安全衛生法施行令第13条)
粉じん障害防止規則:	<ul style="list-style-type: none"> ・粉じん作業 (第1章第2条)

研削盤等構造規格： ・使用上、製造上の注意事項
化学物質排出把握管理促進法： ・名称を通知すべき物質 第1種・第2種指定化学物質
(合計562物質)
・PRTR制度対象の第1種指定化学物質(462物質)

16.その他の情報

参考文献等： 「グラインダー安全必携」中央労働災害防止協会
「化学物質等の表示・文書交付制度のあらまし」厚生労働省
「GHS混合物分類判定システム」経済産業省
「化学物質管理_GHS関連情報」独立行政法人 製品評価技術基盤機構
研削砥石工業会 資料

※記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の数値は保証値ではありません。

※危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので取扱いには充分注意して下さい。

※GHS分類については原料メーカー発行のSDSを基に「GHS混合物分類判定システム」を使用した結果を記載致しました。